

any

ars nova yamaguchi

「エニー」

Autumn 2023

OCT.-DEC.

125

特集

「DYNAMIC賢者の音Ⅱ

亀井聖矢ピアノ・リサイタル」

「ウクライナ国立

フィルハーモニー交響楽団山口公演」

贈りもの
音楽の



特集

03 音楽の贈りもの
「DYNAMIC 賢者の音II
亀井聖矢ピアノ・リサイタル」
「ウクライナ国立
フィルハーモニー交響楽団 山口公演」

08 any 通信

- ◎アーティストボイス 辻本 玲 (チェロ奏者)
- ◎お先に試写しました 「アアルト」(監督:ヴィルビ・スータリ)
- ◎読書の窓 甲斐みのり『はじめましての郷土玩具』
- ◎映画と 『流離の岸』プレスシート
- ◎any music 折坂悠太「あけぼの(2023)」

ピックアップイベント

10 山口情報芸術センター
バック・トゥ・バック・シアター「影の獲物になる狩人」
オーストラリア発の世界的先駆者が山口初上陸
開館20周年シンポジウム
YCAM オープンラボ2023「もうひとつの学び場」
開館20周年を迎えたYCAM、その向かう先は—

中原中也記念館

企画展II「中也と短歌」
あまり知られていない中也の短歌を紹介

山口市市民会館

第2回 わくわく寄席
本場の寄席が山口に!

yab山口朝日放送開局30周年記念特別公演
スーパー戦隊スペシャルライブ2023 山口公演
大人気!あの王様たちがステージの上で大集合!

13 木ノ下裕一インタビュー
木ノ下歌舞伎「勸進帳」

14 イベントカレンダー 10~12月
INFORMATION

亀井聖矢 KAMEI Masaya

2022年、ロン・ティボー国際音楽コンクールにて第1位を受賞。併せて「聴衆賞」「評論家賞」の2つの特別賞を受賞。2001年生まれ。4歳よりピアノを始める。19年、第88回日本音楽コンクールピアノ部門第1位、及び聴衆賞受賞。第43回ビティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、及び聴衆賞受賞。22年、マリア・カナルス国際ピアノコンクール第3位受賞。ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールセミファイナリスト。これまでに、N響、読響、東響、東京フィル、日本フィル、新日本フィル、東京シティフィル、関西フィル、京響など、国内の主要オーケストラと共演。テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK「クラシック倶楽部」などメディア出演も多数。愛知県立明和高等学校音楽科を経て、飛び入学特待生として桐朋学園大学に入学し、23年3月に同大学を首席で卒業。23年には、文化庁長官表彰(国際芸術部門)、出光音楽賞、岐阜県芸術文化奨励賞、愛知県芸術文化選奨文化新人賞を受賞。21~22年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。第51回公益財団法人江副記念リクルート財団奨学生。

Kamei Masaya

音楽の贈りもの

山口市文化振興財団の企画のなかでもクラシックコンサートが充実している今年度。とくにany編集部がお薦めするのはクリスマスを前後して立て続けに山口市市民会館で行われる2つの演奏会です。この12月、あなたのもとへ届くのはどんな音楽の贈りものなのでしょう。本特集ではこの注目の2つの演奏会について、それぞれインタビューでご紹介します。

特集インタビュー2

「ウクライナ国立

フィルハーモニー交響楽団
山口公演」

大晦日が差し迫る12月29日に開催される、「ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団」による演奏会。名門オーケストラの堂々たる風格を山口市市民会館で見せつけてくれることでしょう。しかも年末にふさわしい「第九」では市民で結成された合唱団と共演します!

特集インタビュー1
「DYNAMIC 賢者の音II
亀井聖矢
ピアノ・リサイタル」
昨年度から始まったクラシックのコンサートシリーズ「DYNAMIC 賢者の音」。その第2弾にピアニストの亀井聖矢さんをお迎えします。昨年、ロン・ティボー国際音楽コンクールに20歳という若さで第1位に輝き、世界を驚かせた俊英が山口に初登場です!

National Philharmonic Society of Ukraine Kyiv





© Corentin Schimel

まだまだ
自分の中に
伸びしろが
あると思う。

5月から8月にかけて行われた全国12公演の凱旋リサイタルツアーを振り返ってみて、いかがでしたか？

この3カ月間のツアーを通して、自分にとって良い成長の機会になったなと思います。ツアー中も多方面からレッスンを受け、自分でも楽譜がぐちゃぐちゃで見えなくなるくらい研究もしました。今できる最善の形で演奏会を迎えられるように準備して、全て出し切ったけれど、それでもまだまだ自分の中に伸びしろがあると思うし、勉強すればするほどしたいことがどんどん出てきています。ツアーでは初めて行くところも多く、それぞれのホールの響きにあわせてピアノの一番いい音を鳴らせるように意識しながらリハーサルや練習を行いました。会場によって響きも反応も違いましたが、どれも温かいお客さんが多く、結果的にどの公演も楽しかったです。

亀井さんといえば、超絶技巧。ピアノ史上最難曲とも言われる作品をレパートリーに。超絶技巧曲に挑む理由は？

音数が多くテクニック的にも難しい、とにかく色々なことを考えないといけない必死の状態だと、どんどん自分の体の熱が上がっていきます。自分の心が動いて、そこから出てくる音を自分の耳が聴いて、そこでまた自分の心が反応して、また次のフレーズに反映されて…というサイクルができるのが、すごく楽しくて。また聴く側としても、そういう作品を聴くときに楽しいと感じるので、あえて選んで弾くことが多いです。

今、世界が注目する
若き俊英が贈る
ピアノの世界

昨年11月にロン＝ティボー国際音楽コンクールで見事優勝されました。その時のお気持ちは？

演奏しているときは結果のことは全く気にせず、そのステージを楽しもうという気持ちで臨みました。結果はどう転んでも自分は満足だという演奏ができて、その時点でもう幸せだったので、結果がもたらえたときはほっとしました。実は発表が全部フランス語だったので聞き取れなくて、しばらく何位だったのか分からず、英語で耳打ちされて、やっと1位だったんだと分かって(笑)。でも、これが最終目標ではなく、一つの通過点。これを機に海外で演奏させてもらえる機会が増えたり、国内での活動も幅が広がり、一段階ステップアップする重要な一歩だったなと思います。

亀井聖矢

特集インタビュー1
Kamei Masaya

ロン＝ティボー国際音楽コンクール優勝の凱旋リサイタルツアーを
終えられたばかりの
亀井聖矢さんにインタビューしました。

「DYNAMIC 賢者の音Ⅱ 亀井聖矢 ピアノ・リサイタル」

2023年12月17日(日) 14:00開演 (13:15開場) 山口市民会館 大ホール

【チケット情報】any会員先行 9月30日(土)～／一般発売 10月7日(土)～

【料金】全席指定 前売 一般 3,500円／any会員 3,000円／ペア 6,600円／学生 1,500円

当日 一般 4,000円／学生 2,000円

※ any会員は1会員2枚まで、当日券は割引対象外 ※5歳以上入場可

【曲目】ショパン:舟歌 嬰へ長調 作品60 / ショパン:「ドン・ジョバンニ」の「お手をどうぞ」による変奏曲 変ロ長調 作品2
ベッリーニ=リスト:「ノルマ」の回想 ほか

でも、テクニック的に難しい作品でなくても、自分の心を反応させていくのは可能だし、音数が少なくなればなるほど、そのサイクルを作り出すことが難しくなっていくと僕は思うので、今後はそういう「難しくくない」作品で自分の感情をいかに引き出して、それをどうやってお客さんに伝えていくか、というところを深めていきたいなと思っています。

超絶技巧曲を難なく弾けるのには秘訣があるのでしょうか？

生まれつき手が大きかったことがあります。赤ちゃん用の手袋が入らなかったそうです。あとは、小さいときからそういう曲が好きだったので、弾いているうちに広がった部分もあると思います。

演奏のモチベーションはどのようにして保っていらっしゃるのでしょうか？

僕は謎解きが大好きなのですが、そのおもしろさは演奏にも通じます。謎解きは高校生の頃にテレビで見てもおもしろいと思い、自分でも作るように。解く側としては、無理難題を突き付けられた時、ひらめいたり情報整理して、ストーリーやたつた

1つの突破口を突き詰めていくのですが、どこかに伏線が隠されていたり、ちょっとだけ発想をひねってみることで答えが見つかる、そのひらめいた瞬間が気持ちよくて。作る側としては、「あー、その手があったか」という反応がもらえるのが嬉しいし、自分が創り出したもので誰かに驚きや感動を与えることができる。そういうところに僕は喜びを感じます。それは、お客さんに演奏を聴いてもらう時のモチベーションにも通じています。

留学先から一時帰国しての山口公演。今回のプログラムの聴きどころは？

今回はこれから新たに取り組んでいくショパンの作品と、僕の大好きなレパートリーから構成します。今回披露する「お手をどうぞ」はショパンのかなり初期の作品で、技巧的な部分が詰まった変奏曲。有名なメロディーが様々な形で繰り返されていく、ショパンの作品の中でも一番難しいともいえる曲です。でも、とても聴きやすく、メロディーもすごく楽しい作品で、お楽しみいただけます。ショパンの「舟歌」は、逆にかなり後期の作品で、みなさんよく

耳にするキャッチーなメロディーで、充実感に溢れた素敵な作品です。「お手をどうぞ」とはまた違ったショパンらしい一面をお届けできるのではないかなと思います。

リストの「ノルマの回想」は、僕自身大好きでこれまでに何度も弾いてきた作品です。ベッリーニ作曲のオペラ「ノルマ」がもとになっていて、そこからリストがいいところのメロディーを抽出して、ぎゅっと15分間にまとめたような濃密な作品。2時間分のオペラを観たような充実感があり、技術的にも難しく聴き応えもある作品で、ぐっと惹きつける15分間になるのでは。自分の熱量をフルに注ぎ込んで演奏できたらなと思います。

山口のお客さんに、一言メッセージをお願いします。

今回、山口へ初めて行けるということで、すごく楽しみにしています。みなさんにも温かく迎え入れてもらえるといいなと思っています。今回は僕がすごく好きな、聴き応えのある作品をお届けします。クラシックと気張らずに、ラフに楽しんで聴いていただけたらと思います。

自分が創り出したもので
誰かに驚きや感動を
与えることができる。
そこに喜びを感じます。



© Kumiko Suzuki

観た！
聴いた！
見ました！
の！

- ◎上質な爆音で満たされました。こだわりの音をありがとう。(台V祭 ライブコンサート「美麗島Underground」より)
- ◎草野先生の追悼の詩が、とても心にきました。(特別企画展「草野心平と中原中也」より)
- ◎食べるもの、作り方など、食に関してどうあるべきか考えるきっかけになりました。([「The Flavour of Power」展]より)
- ◎プレイヤーが現役だった頃はどんなレコードを鳴らしていたのか色々想像を掻き立てられました。(大友良英+青山泰知+伊藤隆之「without records」展より)

東欧の名門オーケストラが贈る「歓喜の世界」へ!!

National Philharmonic Society of Ukraine Kyiv

世界屈指のオーケストラを山口市に呼びたかった。



松田和寛
（山口市市民会館副館長）

なぜ、ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団を山口市に呼びたいと思ったのでしょうか？

山口市では、第一線で活躍する大規模なオーケストラの演奏を生で聴く機会はなかなかありません。なので、世界屈指のオーケストラを山口市に呼びたかったというのが一番の理由です。世界を代表するオーケストラをここ山口市に呼びたいというのは念願でした。山口市に来てもらって、多くの人に演奏を聴いてもらいたい、山口市民に喜んでもらうことができれば、それが文化の発展にもつながっていくと考えています。

折しも、このお話をいただいたときはロシアによるウクライナ侵攻が始まり、大変な想いをされているウクライナの人々の様子が毎日のように報じられている時期で

した。そんな戦禍の真只中にありながら、このオーケストラが来日することを知り、ぜひ山口市という思いを強くしました。「第九」でウクライナの方と一緒に歓喜の歌を歌うことで、ウクライナの支援のひとつになればいいという思いもありました。

「第九」を歌うのは、新しく公募で集まった市民による合唱団。練習の様子はいかがでしょう？

今回、市民で結成した合唱団(ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団山口公演第九合唱団)の合唱指導をお願いした中野幸郎さんはもともとは中学校の音楽教師で、合唱指導もずっとされてきた方。指導者として大変優れている方であり、とても情熱的で話もお上手です。合唱団メンバーの中には、中野さんファンの方も多くいらっしゃるんですよ。

練習は5月13日から開始し、月2回ほど山口市市民会館に集まって、パート練習、全体練習に加え、山口大学の名誉教授エムデ・フランツさんにドイツ語指導もいただいています。全部で20回の練習を重ねる予定で、現在、半分くらいの練習が終わったところ。徐々に美しいハーモニーが生まれていて、12月29日の本番には聴衆のみなさんに感動して帰ってもらえるくらいになると信じています。

合唱団にはどんな方々が集まっているのでしょうか？

中学生と高校生が50名ほど、あとは社会人の方やシニアの方が90名ほどいらっしゃる総勢140名で結成されています。中には、親子で参加して下さっている方も数組。そして半分以上の方が「第九」を合唱団として歌うのは初めて。みなさん

本番に向けて個人個人でも日々練習されています。最初はちゃんと人数が集まるのか心配していましたが、とんでもない。山口市民の方の中に「第九を歌いたい、歌ってみたい」と思っている方がこんなにも多いことに驚かされました。

それだけ熱意のある方が集まったのであれば、12月の本番が終わってすぐ解散してしまうのは寂しい気もします。

そうなんです。集まって練習されるみなさんの姿をみていると、こういった活動はとても大切だなと感じます。12月の本番だけにとどまらず今後もどうにかして活動を維持できないかと考えています。このような場があることで様々な関係性が広がり、みなさんの生活が心豊かなものになっていくのではないかと考えています。このような場があることで様々な関係性が広がり、みなさんの生活が心豊かなものになっていくのではないかと考えています。このような場があることで様々な関係性が広がり、みなさんの生活が心豊かなものになっていくのではないかと考えています。

ほかにも様々な協力を得て、当日を迎えるとお聞きしましたが…。

なんとこの公演を成功させたいと、山口に本社がある株式会社ユニクロに相談したところ、ユニクロが掲げる世界平和を願う活動と合致して、今回特別協賛をいただくことに。なんと山口公演の記念オリジナルデザインTシャツ(公演当日にしか買えない限定商品)を作って販売していただくことになりました。これは一市民としても大変嬉しいこと。また、美祿市出身で世界的に活躍をされる切り絵作家の久保修さんとご縁をいただき、彼がデザインしたウクライナにまつわる切り絵のステッカーや絵はがきを来場者にプレゼントしたいと考えています。



絵はがき

ステッカー

「平和」への願いを感じ取っていただければと思います。

今回どんなところに注目してコンサートを聴いていただきたいですか？

前半はドヴォルザークの第8番「イギリス」を演奏します。ドヴォルザークはチェコ出身の作曲家。ポヘミアの田舎の風景を感じさせ、チェコ風の明るく抒情的なところが聞きどころだと思います。そしてなんとといっても、ウクライナから楽団を呼ぶということは、いまある戦争のことは切っても切り離せません。後半のベートーヴェンの「第九」に関しては、上手下手は関係なく、とにかく世界平和を願ってウクライナの方々と同じステージに立ち、みんなで気持ちをひとつにして歌う、ということがとても意義のあることだと思っています。聴きに來られるみなさんも、ステージからあふれてくる「平和」への願いを感じ取っていただければと思います。また、今回ソリストの一人として出演されるアルト歌手の秋本悠希さんは英国王立音楽院で学ばれた才能あふれる逸材で、実は山口県にゆかりのある方です。合唱団の活躍とあわせて注目してお聴きください。



「ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団 山口公演」

2023年12月29日(金) 14:00開演 (13:00開場) 山口市市民会館 大ホール

[チケット情報] 発売中

[料金] 全席指定 S席 一般 7,000円 / 学生 3,500円 A席 一般 6,000円 / 学生 3,000円

* any会員は一般料金より各500円引(1会員4枚まで、当日券は割引対象外) ※未就学児入場不可

[曲目] ドヴォルザーク:交響曲 第8番ト長調 作品88 B.163 「イギリス」/ ベートーヴェン:交響曲 第9番 二短調 作品125 「合唱付き」

[出演] アントニー・ケドロフスキー(指揮)、テチアナ・ガニーナ(ソプラノ)、秋本悠希(アルト)、ドミト・クズミン(テノール)

セルギイ・マゲラ(バス)、ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団山口公演第九合唱団(合唱)



公演当日、記念Tシャツを販売します! (限定700着) 1,500円(税込)



合唱の練習風景

「の!」

- ◎泣きそうになりました。ずっとドキドキがとまらなくて、さいごでした。(ハイハイ「再生」より)
- ◎ジブリがもっと好きになった。(「ジブリの思い出がいっぱい」オーケストラによるドリームコンサート)より)
- ◎一緒に大旅行をしている気分になりました。(夏休みお楽しみシアター「アナのはじめての冒険」より)
- ◎セリフがないのに声が聞こえてきました。(夏休みお楽しみシアター「ベック」より)

「の!」

- ◎展示室の構成が素敵で引きこまれました。スゴクおもしろかった。(テーマ展示「詩集『山羊の歌』」より)
- ◎山口で台湾の地下バンドを見る機会があるとは思わなくて驚いた。(台Y祭 ライブコンサート「美麗島 Underground」より)
- ◎バイオリンの方が特に楽しそうに演奏されるので、こちらも嬉しくなりました。(「ジブリの思い出がいっぱい」オーケストラによるドリームコンサート)より)
- ◎虫が鳴いているみたいでおもしろかった。鉄道みたいな音もした。(大友良英+青山泰知+伊藤隆之「without records」展より)

any通信

アーティストから聞いたこぼれ話、
映画や本の情報など、
旬のお便りを詰め込んで、
あなたのもとへお届けします。



坂本龍一の名作を 山口の名跡で再展示!



photo: 山中慎太郎 (Qsyum!)

音楽家の坂本龍一が、2013年にYCAMで制作・発表したインスタレーション作品《Forest Symphony》が現在、常栄寺雪舟庭で展示公開中です。世界各地の樹木の生体データからサウンドを生成する作品。本作品がともにあることで山口が誇る史跡のひとつである常栄寺、そしてそこから眺める「雪舟庭」の風景を、新しい景色へと変えていくことでしよう。その変容する様を、移ろいゆく季節とあわせてお楽しみください。

Yamaguchi Seasonal 2023
坂本龍一+YCAM
Forest Symphony
開催中～2023年11月5日(日)
10:00～16:30
※火曜および11/2,3お休み
会場:常栄寺雪舟庭(山口市宮野下2001-1)
[料金]無料
※常栄寺雪舟庭の入場料は別途必要となります。

心平と中也の言葉を 朗読とトークで体感

去る8月19日、中原中也記念館特別企画展「草野心平と中原中也」の関連イベントとして、朗読&トーク「心中、詩スルモノアリ——いきかえるうた」が、クリエイティブ・スペース赤れんがにて開催されました。詩の朗読を重視した中也と心平にちなんで、前半は、詩人の桑原滝弥さんが、心平の詩と中也の詩を16篇朗読。大声で叫んだり、マイクを使って

小声でささやいたり、ときに会場内を走り回ったりしながら、心平と中也の詩を全身で表現していきます。そんな桑原さんならではのパフォーマンスに観客は圧倒されました。後半では、桑原さんと、中原中也記念館の館長・中原豊、特別企画展を担当した学芸担当職員の原明子の3人で、アフタートークを行いました。話題は、心平の故郷・福島と中也の故郷・山口との風土の違いから、視覚的な詩をどう朗読するのか、朗読する詩と展示で紹介する詩の選び方の違いなど多岐にわたり、まさに心平と中也の詩を体感するひとときとなりました。



朗読パフォーマンスの様子

ARTIST VOICE

アーティスト
ボイス

辻本 玲 (チェロ奏者)

昨年度から新たに始まったクラシックのコンサートシリーズ「DYNAMIC 賢者の音」。その第一弾としてお招きしたチェロ奏者の辻本玲さんと、彼が信頼を寄せるヴィオラの鈴木康浩さん、ピアノの津田裕也さんによる演奏会は、その質の高さで聴衆を大いに魅了。また人柄が伝わる和やかなトークも大変好評でした。さて、辻本さんは山口での演奏会をどう感じられたのでしょうか?

期待をはるかに上回る濃密な時間でした。

1月は「DYNAMIC 賢者の音I～辻本玲と仲間たち」で山口市での演奏が実現しました! 今回の演奏会はプログラミングからメンバー決めまで任せていただき、私が絶対的な信頼を寄せるヴィオラの鈴木康浩さんとピアノの津田裕也さんにもお世話になりました。鈴木さんは私が学生のころから共演の機会が多く、良き兄貴としてたくさんのことを学ばせていただき、津田さんは東京藝大のときの尊敬する先輩です。リハーサルの前から期待が高まるばかりでしたが、その期待をはるかに上回る濃密な時間

でした。このような内容の濃い室内楽にはなかなか巡りあうことは稀で、その演奏を山口のみならずにお届けできたことはすごく嬉しいことです。演奏会と合わせて、前日にはニューイヤーバンドフェスティバルの閉会式でも演奏させていただき、その後は山口市の中高校生からなる弦楽部への指導も。少しでも多くのことを吸収しようとする若き音楽家たちにアドバイスさせていただき、楽しい時間となりました。ここから山口県出身の新たな音楽家が生まれたらいいと思います。



© KING RECORD

辻本 玲 TSUJIMOTO Rei

東京藝術大学音楽学部器楽科を首席で卒業。その後、シベリウス・アカデミー(フィンランド)、ベルン芸術大学(スイス)に留学。09年ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール第3位入賞(日本人最高位)、11年にサントリーホール他5大都市でデビュー・サイタルを開催。ソロ活動と並行して、サイトウ・キネン・オーケストラほか、室内楽にも多数参加。現在、NHK交響楽団首席チェロ奏者。



© FI 2020 - Euphoria Film

「アアルト」

(2020年/フィンランド/103分/カラー)
[監督]ヴィルピ・スータリ

フィンランドを代表する建築家でデザイナーのアアルトをご存知でしょうか。彼は第二次世界大戦で90%を破壊されたフィンランドのロヴァニエミ市の都市計画を立て、復興を牽引した人物でもあります。そして、彼の妻であり仕事のパートナーでもあったアイノ・アアルトの存在は、北欧デザインが世界に広まる上で大きな役割を果たしました。本作は2人が交わした手紙とともに、彼らの作品と人生を辿ったドキュメンタリーです。手紙に綴る言葉は、2人が手がけた家具や雑貨のようにモダンでユニーク。アアルト夫妻が世界を魅了する理由も描かれます。また、建築物をどう利用し、存続していくか、建築家か

らのメッセージとも受け止められる作品です。20年前、日本を代表する建築家、磯崎新氏が設計し、開館したYCAM。中央公園から、山々をイメージしたYCAMの屋根の曲線美と一緒に、空と芝生をフレームに納めれば、誰でも美しい写真を撮ることができます。それは建築家の存在を感じる瞬間でもあります。
前原美織(YCAMシネマスタッフ)

2023年10月25日(水)～11月5日(日)
※上映開始時間等はお問い合わせください。
会場:山口情報芸術センター スタジオC
[料金]一般1,500円
any会員・25歳以下・特別割引1,200円

【あらすじ】フィンランドを代表する建築家・デザイナー、アルヴァ・アアルト(1898-1976)。不朽の名作として名高い「スツール60」や自然との調和が見事な「ルイ・カレ邸」など、優れたデザインと数々の名建築を生み出したアアルトのデザイナーとしての人生を突き動かしたのは一人の女性だった…。フィンランドの新鋭ヴィルピ・スータリが、アアルトの知られざる素顔を躍動感溢れるタッチで描き出したドキュメンタリー作品。

の読窓書

『はじめましての 郷土玩具』

甲斐みのり 著 / 中村浩訳 監修
2015年 / グラフィック社



弥次郎系、津軽系、鳴子系…、さて一体何を指す言葉でしょうか。正解は「こけし」です。竹製のザルを被った張り子の犬は「竹」+「犬」で「笑」の字を表しているとのこと。また郷土玩具の形を模したものと、ゆかりのあるお菓子も本書の中で紹介されていて、どれも美味しそうです。郷土玩具の多くは、それぞれの土地で入手しやすい素材を基に工夫を凝らして作られていて、子どもの健やかな成長を願う思いが込められています。手にすると何故かあたたかな気持ちになるのはそういった背景があるからでしょう。中には残念ながら作り手がなくなっただけのものもありますが、一時期途絶えていたけれど新たな形で復活したものもあります。レトロなようで新しくも感じられる奥深い郷土玩具の世界を楽しめる一冊です。

重江里香(山口市立中央図書館 職員)

映画

と



『流離の岸』プレスシート

(1956年/日本/監督:新藤兼人)

11月25日からYCAMで始まる展覧会「Afternote 山口市映画館の歴史」。終戦直後から1950年代にかけて山口市には10館以上の映画館がありました。展覧会では、人々の記憶や資料などを通じて山口市の映画館の歴史を紐解きます。展示資料の一つであるこの「流離の岸」のプレスシートは、1956年に制作され、山口市が初のロケ地となった新藤兼人監督作を紹介したものです。プレスシートとは、映画の配給会社が映画館やマスコミに配布する宣伝用の資料で、当時は切って使えるようにロゴやイラストが印刷されていました。

any music



折坂悠太

「あけぼの(2023)」

この曲を聴きながら旅に出よう。

シンガーソングライターである折坂悠太が10年前にネット上で公開した楽曲を、再構築しリリース。電車の窓から流れる景色を眺めながら聴くのが似合うこの楽曲は、透明感がありナチュラルな音の性質を持っている。かつてベルリンの教会の集会場だった場所を録音スタジオに改装し録音したという。実際録音では、スタジオが持つ音の響きを上手に取り入れるようにマイキングがされる。終始鳴る不思議な音はギターで、2つのギターアンプを行き来する音をマイク2本で録音することで、左右に音が移動する(パンニング)の様子を表現している。秋の空気感ともよく合っていて旅に出たくなる楽曲。

中上淳二(YCAM音響スタッフ)

「みんぱく」
「の！」

- ◎震災時の状況などその場にいた人の目線を知ることができた。(企画展「中原中也と関東大震災」より)
- ◎山口と台湾の深いつながりについて、もっと知りたくなりました。(台Y祭 トーク「台湾と山口の万華鏡」より)
- ◎だんだんメイクが取れて、服が脱げてきて、素顔に近くなって夢がさめていくみたいでした。(「ハイバイ」再生)より)
- ◎くらげのところがたのしかった!! (夏休みお楽しみシアター「アナのはじめての冒険」より)

「みんぱく」
「の！」

- ◎映像の完成度が高く見入ってしまった。(「The Flavour of Power」展より)
- ◎パフォーマンスの動きと文楽の人物のCGには惹きつけられるものがありました。(「浪のしたにも都のさぶらふぞ」展より)
- ◎2歳の子が夢中になって見ていました。(大友良英+青山泰知+伊藤隆之「without records」展より)
- ◎明るい5人の歌声が楽しかったです。(「ジブリの思い出がいっぱい オーケストラによるドリームコンサート」より)

山口市民会館

http://www.yamaguchi-civichall.com/

第2回 わくわく寄席

2023年11月5日(日) 14:00開演
会場:小ホール

本場の寄席が山口に!

昨年初お目見え、大好評に終わった「わくわく寄席」が今年も山口で開催。賑やかな芸人の面々が山口市民会館にやってきます! 東京などの都市部を中心に江戸時代から脈々と続いてきた寄席文化。寄席とは、落語や講談などの話芸や、紙切りや手品、太神楽など色々な芸を楽しむことができる演芸場のこと。地方都市ではなかなかお目にかかる機会の少ない寄席が、ここ山口でお楽しみいただけます。今回は、山口を拠点に第一線で活躍する講談師・神田京子をはじめ、落語家の三笑亭夢丸、雷門音助、紙切りの林家花が高座をつとめます。また、寄席囃子教室や、寄席踊りの披露など多彩なプログラムで寄席の魅力を余すところなくご紹介。日々、寄席で腕を磨く芸人さんたちのバラエティー豊かな芸で、泣いて笑って楽しみましょう!



上段左より: 神田京子(講談) / 三笑亭夢丸(落語)
雷門音助(落語) / 林家花(紙切り)

わたしはココに注目する!

落語や講談は、当日お客様を見て舞台上でその場で演目を決めます。ですから客席はお客様の表情が見えるように明るくします。何が出るかはお客様次第。わくわくしてきませんか?

チケット情報 | 発売中

料金 | 全席自由 前売 一般 3,000円 / any会員・障がい者割引 2,500円 / 25歳以下 1,500円
当日 一般 3,500円 / 25歳以下 2,000円

yab山口朝日放送開局30周年記念特別公演

スーパー戦隊スペシャルライブ2023 山口公演

2023年11月23日(木・祝) ①12:30開演 ②15:30開演 (各回45分前開場)
会場:大ホール

大人気! あの王様たちがステージの上に大集合!



©テレビ朝日・東映AG・東映

11月、大人気放送中「王様戦隊キングオージャー」の王様たちがテレビの中を飛び出して山口市民会館のステージで大活躍! いつもテレビの前で応援しているお友達は、憧れのヒーローに間近で

会える大チャンスですよ! お父さん、お母さん、おじいちゃんやおばあちゃんもみんなで、王様と一緒に強敵に立ち向かおう! 合い言葉は「俺様が世界を支配する!」。さあ、この言葉を胸にみんな山口市民館へ集まれ!!

わたしはココに注目する!

実は40年以上の歴史があるスーパー戦隊シリーズ。「自分のときはあのシリーズだったな～」なんて、幼い頃が懐かしい親御さんも多いのでは? 大人になった今だからこそ、諦めずに立ち上がるヒーローたちからパワーを受け取れるはず!

チケット情報 | 発売中

料金 | 全席自由 前売 一般 3,000円 / any会員 2,700円
当日 3,500円
※2歳まで膝上鑑賞可。ただし、お席が必要な場合は有料。(3歳以上有料) ※小学生以下のお子様のみのお入場はできません。

- 特に記載のない場合、any会員割引は1会員4枚まで。
- いずれの公演も当日券は会員割引の対象外となります。
- 特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。
- 特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。

木ノ下さんが作品を作る上でされている「補綴」とは?

歌舞伎の場合、同じ演目でも色んなバリエーションの台本があり、時代によっても、演じる俳優やその家柄によっても、あるいは関東、関西でもセリフが違う。なので、新しい演目で作品を作るときは、その演目の台本にできるだけ多くあたり、一度体系的にみます。そこから、使いたいセリフを選んだり、カットしたり、あるいは足りない部分は追加したりといった作業をしながら上演台本を作っていくのが「補綴」、「補い綴る」作業です。

ただ、「勸進帳」の場合はもう少し複雑で、まず僕が様々な台本を集め、古語のままの台本を作る。次にその古語の台本を極力ブレーションに、強い主張が入らないように訳した現代語の台本をつくる。そこに、なぜその補綴になったのか、古語台本の注釈のようなものを書いた「補綴ノート」と呼んでいるものを加えた3点セットを、演出家の杉原邦生さんに渡しました。そこから邦生さんがさらにかみ砕いて現代語に訳し、また邦生さんが新たに創作して加えたシーンも入ったものが今回の上演台本になっています。

いま「勸進帳」を上演する意味とは?

古典の名作である「勸進帳」を、木ノ下歌舞伎版では「境界線」をテーマに読み直しています。2010年に初演して、そこからがらっと演出を変えて再創造したのが2016年。この年は、トランプが不法移民に対する政策を公約に掲げた年。「分断」や「境界線」という言葉が特別な意味をもち、私たちのなかに新しく響いてきた時でした。いまは「分断」は当然あるもので、ではその「分断」をどうしていけばいいのか。「ジェンダー」の問題もそう。ジェンダーは多様なもの」ということは周知されつつあるけれども、多様であることを受け止めたうえで、お互いにとって住み心地のよい社会とは何なのか考えなければいけない。「分断」という言葉のもつ意味合いが7年経って大きく変化したいまだからこそ、「勸進帳」を上演する意味はあるように思います。

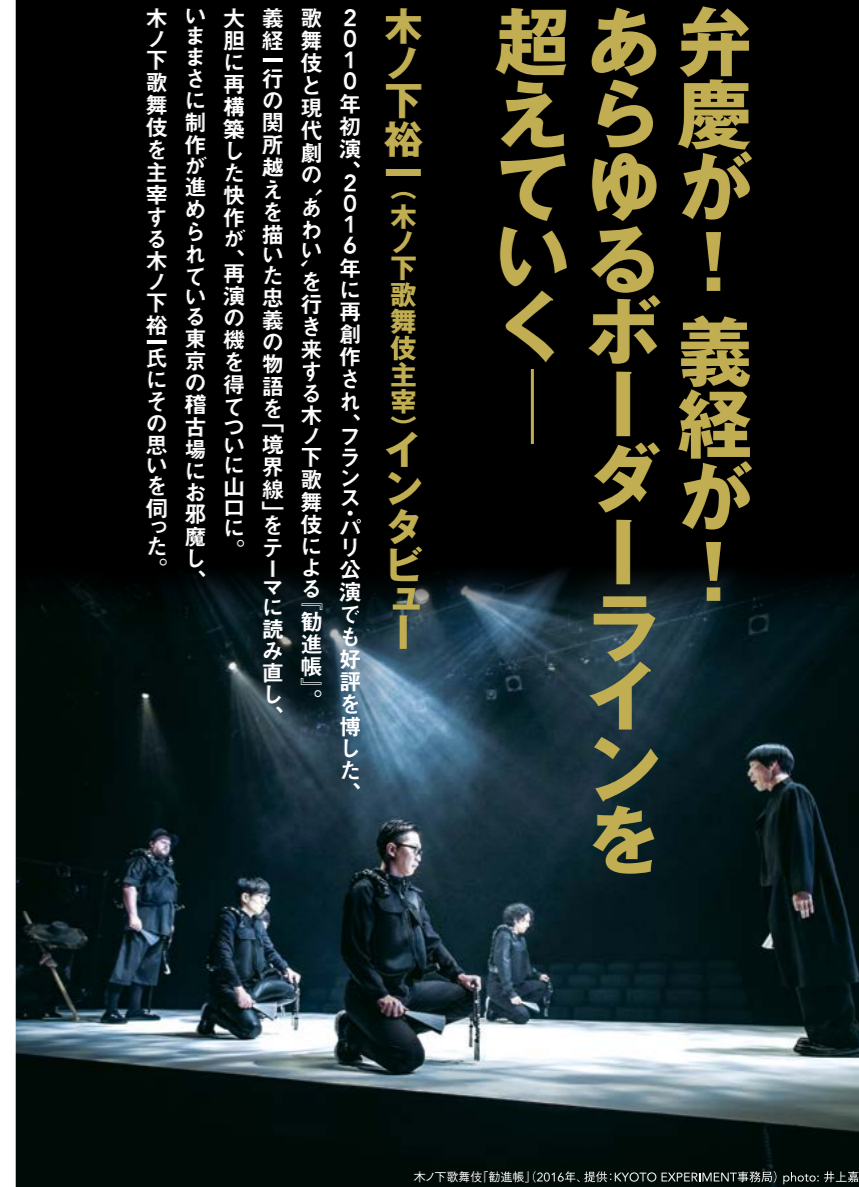
また、木ノ下歌舞伎のレパートリーのなかでも杉原邦生演出のこの「勸進帳」は代表作の一つ。ラップもあり、ダンスもあり、役者さんたちの会話もコミカルで楽しいシーンも多くあります。とても間口が広く、初めて見る方にも入りやすい作品。そんな作品を今回は、東京だけではなく山口をはじめ色々な地域で上演してもらえる非常に貴重な機会だと思っています。

2016年版と今回の違いは?

大枠は変わっていませんが、照明プランが大きく変わるのと、衣裳も現代を投影したものに。ラップシーンの音楽も新しく作曲しなおしてもらっています。それと同時に、俳優さんがすごく演技を深めてくれています。2016年と同じメンバーでの再演で、7年経つとそれぞれの演技に俳優さんたちの人生の積み重ねや厚みがでてきている。そんな様々な効果によって大きく前回とは違うものになると思います。

演劇作品での鑑賞サポートはまだまだ始まったばかり。

どうやったら多くの方に作品を届けられるのか、その思いから、視聴覚障がいのある方に向けた鑑賞サポートに取り組んでいます。今回も「勸進帳」を上演する各劇場の協力を得て、字幕機の提供や音声ガイドを実施していただけることに。機材提供や字幕制作を行う会社、音声ガイドナレーターの方に、稽古やリハにも参加していただい一言一句どう表現したらいいか一緒に考えてもらっています。「勸進帳」は、登場人物全員が、寄り添えないはずの他者、立場上寄り添ってはいけないはずの他者に、それでも少しずつ寄り添おうとする物語ともいえます。少しでも観る方のそばに寄り添える公演となれば嬉しいです。



木ノ下歌舞伎「勸進帳」(2016年、提供:KYOTO EXPERIMENT事務局) photo: 井上薫和

木ノ下歌舞伎「勸進帳」
2023年10月21日(土) 19:00開演 / 22日(日) 14:00開演
会場:山口情報芸術センター スタジオA (各回30分前開場)

[チケット情報] 発売中 [料金] 全席自由(整理番号付)
前売 一般 3,000円 / any会員・65歳以上 2,500円
25歳以下 1,500円 / 高校生以下 500円
当日 一律 3,500円
21日(土)はアフタートークあり。また、聞こえない・聞こえづらいお客様のための「ポータブル字幕機提供」を実施(要予約)
22日(日)は見えない・見えづらいお客様のための「音声ガイド」を実施(要予約)
[監修・補綴] 木ノ下裕一 [演出・美術] 杉原邦生 [KUNIO]
[出演] リー 5世、坂口涼太郎、高山のえみ、岡野康弘、亀島一徳、重岡漢、大柿友哉

【あらすじ】 鎌倉幕府将軍である兄・源頼朝に謀反の疑いをかけられた義経たちは、追われる身となり奥州へ向かう。各地の関所に義経を捕らえるよう通達がいきわたる中、義経は強力(山伏に伴って荷物を運ぶ従者)に、家来たちは山伏の姿に化けて関所を通ろうとするが、加賀の安宅の関守である富樫左衛門は、義経たちが山伏に変装していることを知っていたため、義経一行を怪しんで通さない。そこで弁慶は何も書かれていない巻物を、寄進を募る「勸進帳」として読み上げ、一旦は関所を通過する。しかし、ふとしたことから強力が義経ではないかと疑われてしまう。緊迫した状況のなか、弁慶は義経をどこまでも強力として扱い、杖で打ち据える。それを見た富樫は、頼朝の命を破り、一行を通してやるのだった――。



木ノ下裕一 KINOSHITA Yuichi
木ノ下歌舞伎主宰。1985年、和歌山生まれ。2006年、京都造形芸術大学在学中に古典演目上演の補綴・監修を自らが行う木ノ下歌舞伎を旗揚げ。代表作に「三人吉三」「娘道成寺」「義経千本桜―渡海屋・大物浦―」など。16年に上演した「勸進帳」の成果に対して、平成28年度文化庁芸術祭新人賞を受賞。渋谷・コクーン歌舞伎「切られの与三」(2018)の補綴を務めるなど、古典芸能に関する執筆、講座など多岐にわたって活動中。24年にまつもと市芸術館の芸術監督・団長に就任する。

mini PICK UP!

宝くじ文化公演
岸谷香
Kaori Paradise 2023
2023年11月12日(日)
16:30開演(15:30開場)
会場:山口市民会館 大ホール



ガールズバンド“プリンセスプリンセス”のボーカル&ギターリストとして活躍してきた岸谷香。現在では、育児・音楽活動を両立しながらソロとしての音楽活動を行っています。そんな彼女が、ソロ楽曲をはじめ、プリンセスプリンセス時代の名曲「Diamonds(ダイヤモンド)」[M]ほか、ピアノとアコースティックギターでお届けします。

[チケット情報] 発売中
[料金] 全席指定
前売 一般 2,500円
高校生以下 1,500円
※本公演は宝くじの助成により、特別料金となっております。

先行チケット
発売情報
早チケ
any会員
先行予約
12月2日

小林愛実
ピアノ・リサイタル
2024年3月10日(日)
14:00開演(13:00開場)
会場:山口市民会館 大ホール



1995年山口県宇部市に生まれ、幼少期より国内外の多くのメディアから注目を集めてきたピアニスト、小林愛実。9歳で国際デビュー、14歳でメジャーレベルからCDデビューするなど、プロの演奏家として長いキャリアをもつ彼女が、さらに世界中の人々の話題を集めることとなったのは、まだ記憶にも新しい、2021年の「第18回シヨパン国際ピアノコンクール」入賞のニュースではないでしょうか? 小林愛実の実力をたっぷり味わうことができる凱旋リサイタルにぜひご期待ください。

[チケット情報]
any会員先行 12月2日(土)~
一般発売 12月16日(土)~
[料金] 全席指定
前売 一般 3,500円 ほか割引あり

10 October

11 November

12 December

※掲載内容は2023年10月1日現在のものです。変更の場合がありますので、ご了承ください。

山口情報芸術センター
[YCAM]
https://www.ycam.jp/
※年末年始のお休み12/29~1/3

開催中

- Yamaguchi Seasonal 2023
坂本龍一+YCAM InterLab「Forest Symphony」 会場:常栄寺雪舟庭 (本誌p.8参照)
- Yamaguchi Seasonal 2023
大友良英+青山泰知+伊藤隆之「without records」
会場:山口駅前サテライトA
- YCAM Dance Crew 2023 ショーケース
(本誌p.10参照)

14 15 バック・トゥ・バック・シアター「影の獲物になる狩人」
(本誌p.10参照) ※10/12関連ワークショップあり

21 22 木ノ下歌舞伎「勳進帳」
(本誌p.13参照)

28 スペキュラティブ・ライブラリー
「あそべる図書館」

4 YCAMオープンラボ2023
(本誌p.10参照)

11 コロガルあそびのひやっかてん
会場:山口井筒屋

25 Afternote 山口市 映画館の歴史

26

5

12

10

17

29

~ 2024 / 1 / 14

~ 2024 / 3 / 17

~ 2024 / 2 / 25

山口市市民会館
http://www.yamaguchi-civichall.com/
※年末年始のお休み12/30~1/3

5 第2回 わくわく寄席
(本誌p.12参照)

12 岸谷 香
KAORI PARADISE 2023
(本誌p.12参照)

10 山口県交響楽団

17 DYNAMIC賢者の音II
亀井聖矢ピアノ・リサイタル
(本誌p.2~7参照)

29 ウクライナ国立
フィルハーモニー交響楽団
(本誌p.2~7参照)

4 第20回テーマ展示
詩集『山羊の歌』

4 企画展II
中也と短歌

22 中也忌(無料開館)

27 中原中也を読む会

24 中原中也を読む会

22 中原中也を読む会
会場:山口情報芸術センター

~ 2024 / 2 / 12

~ 2024 / 4 / 14

中原中也記念館
https://www.chuyakan.jp/
※年末年始のお休み12/29~1/3

[マーク説明] 体験する 参加する 聴く 観る

INFORMATION

■公演チケットのお求めについて

山口市文化振興財団が主催・共催する公演チケットは以下の方法にてご予約・ご購入ください。

予約方法

インターネット 山口市文化振興財団ホームページ (24時間受付)

https://www.ycfcp.or.jp/

※any会員の方は先行予約初日の10:00より、一般の方はプレイガイド発売日の10:00より受付開始。



電話 チケットインフォメーション (10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日、ほか臨時休館日あり)

TEL. 083-920-6111

窓口 チケットインフォメーション (10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日、ほか臨時休館日あり)

山口情報芸術センター

※先行予約初日はインターネットまたはお電話のみの受付となり、窓口のご利用は翌日からとなります。

支払方法

クレジットカード インターネットでチケット予約された際に利用いただけます。

チケットのお受け取りはお近くのセブンイレブンまたは山口情報芸術センターにお越しください。

セブンイレブン インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。

お近くのセブンイレブンでお支払いいただけます。チケットはその場でお受け取りください。

窓口 ※上記予約方法「窓口」参照

■託児サービスについて

山口市文化振興財団では託児サービスを行っています。

※おもちゃ、おむつ、着替え等必要なものはご持参ください。お子様の食事は事前に済ませておいてください。

公演開催時

[対象] 0才(6カ月)以上

[料金] 1人につき700円、
2人目以降は1人につき500円

[時間] 開演の30分前から終演後30分まで

[申込方法] 公演日の1週間前までに左記チケットインフォメーションまたは山口情報芸術センターにてお申し込みください。

※公演によっては行わない場合もございます。事前にお問い合わせください。

山口情報芸術センター キッズスペース

[対象] 1才以上

[料金] 1人につき30分200円

[時間] 13:00~17:00 1回2時間まで
(山口市立中央図書館休館日を除く)

[申込方法] 当日、山口情報芸術センターにてお申し込みください。満員の際は順番制となります。

any 会員募集!

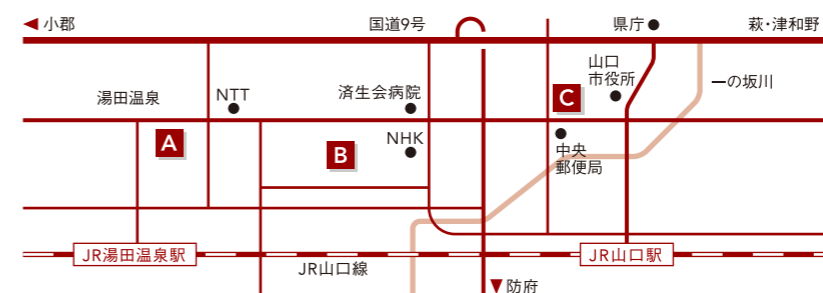
※入会方法等、詳しくはお問い合わせください。

any会員は、山口情報芸術センターや山口市市民会館などで行われる財団主催・共催の公演や展示、ワークショップ等の情報をいち早くお知らせし、楽しんでいただくための友の会です。公演のチケットが一般の方よりも安く、早く購入できるなどの特典があります。

[年会費] 1,500円+入会金500円 ※会員期間内に更新される場合、入会金は不要です。

[会員期間] 入会日から翌年の入会月末まで

[会員特典] チケットの先行予約および割引購入(公演によっては適用されないものもあります)、情報誌の無料送付、YCAMシネマ・中原中也記念館招待券プレゼントなど



公益財団法人
山口市文化振興財団
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

〒753-0075 山口市中央2-5-1
TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216
https://www.ycfcp.or.jp/ zaidan-info@ycfcp.or.jp

編集後記

作物の実り豊かなこの季節の楽しみは美味しいものを食べること!!
体重も気にしつつ…味わい尽くさず。[M.D]
旅行中にスマホが故障し、奇しくもデジタルデトックスの一人旅。行く先々で出会う人の助けを借りながら、人の優しさに触れる貴重な旅となりました。[K.A]

朝晩、夏の残り香に秋の風が交じるこの頃。気候変動で四季は薄れてゆけども、季節のグラデーションを感じる瞬間がたまらなく愛しい。[Y.I]

A 中原中也記念館

〒753-0056 山口市湯田温泉1-11-21
TEL. 083-932-6430 / FAX. 083-932-6431
[開館時間] 9:00~18:00(入館は17:30まで) [5~10月]
9:00~17:00(入館は16:30まで) [11~4月]
[休館日] 月曜(祝日の場合は翌日)、毎月最終火曜(変更あり)、年末年始
https://www.chuyakan.jp/

B 山口情報芸術センター[YCAM]

〒753-0075 山口市中央2-5-1
TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216
[開館時間] 10:00~20:00(夜間イベントのある日は22:00まで)
[休館日] 火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始、臨時休館日
https://www.ycam.jp/ information@ycam.jp

C 山口市市民会館

〒753-0074 山口市中央2-5-1
TEL. 083-923-1000 / FAX. 083-928-8488
[開館時間] 8:30~17:15 [休館日] 年末年始
http://www.yamaguchi-civichall.com/



A. ■ 温泉集
(宇佐川紅萩の発言によると、中也が湯田温泉に住んでいたから、といいますが、中也自身による命名なのかは不明です。)

本誌掲載の企画について、今後の情勢により開催が変更または中止になる場合がございます。最新情報は各施設のwebサイト等にてご確認ください。



公益財団法人
山口市文化振興財団
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

